

昨年から『エコノミック・ヒットマン』（経済的暗殺者＝資源を持つ発展途上国をアメリカ企業体の奴隷にするために暗躍するアメリカ政府の隠れエージェント）という英語の本を勉強のため翻訳しています。これはかつてその一人のエージェントとして働いていた人による暴露本です。面白い文章があったので紹介します。この本はとても面白く、アメリカでベスト・セラーになっているにもかかわらず日本で翻訳本が出ていません。それは日本人がアメリカ嫌いにならないように、翻訳本を出さないよう政府による見えざる圧力があるのではないだろうかと思推をしてしまいます。

【チベットの老婆は「すべての現代の問題は男が社会を支配するようになって始まった」と言った。

「それはどういう意味ですか？」と私は聞いた。

「現代の世の中を見てみてください。すべては男達によって運営されています。私はかつて都市に住んだことがあります。そして仏教徒になろうとしました。しかし私はすべての重要な仕事は、政府と同じように男によってなされていることを知りました。」

「その通りだな」と老父は横で言った。

「かつては女が男をコントロールしていた」と彼は笑いながら言った。そして続けた。

「我々男は思慮に欠けるし、狩りに出かけ、森を伐採する。他にもその類の仕事をやる。女達はある段階で、「十分な量を得たからもうこれ以上はいらない」と男に仕事を止めさせていたものだ」と。

この話は、アマゾンのシュア一族と生活したときの話を私に思い出させた。彼らは男と女は同権であるが役割が異なっていると信じていた。男は食料のために動物を殺し、薪のために木を切り倒す、そして他の部族の男と闘う。女は子どもを育て、穀物を育て、かまどの火の管理をする。そして重要な仕事は男に仕事の止めどきを指示することだ。シュア一族によると男達はもう十分な肉や薪があっても狩りや木の伐採を女達がとめるまでやめようとしなない。

シュア一族の何人かがアメリカを訪ねたことがある。彼らはそこでは自然が破壊され、高速道路、町並み、ショッピング・モールが舗装されていることに非常なショックを受けた。

「いったい女達に何が起きたのか！」と質問した。「なぜ彼女たちは男達を止めようとしなかったのか？なぜあなた方の女性達はいつも必要以上にものを買いたがるのか？」

アマゾン奥地の部族とヒマラヤの高地で生きているチベット遊牧民が同じような考えを持っているということは驚くべきことだ。

ラサに戻る車の中でそのことをずーっと考えていた。おそらく、これら二つの異なった民族が本当の人間の価値を表現しているのではないだろうか、そして世界を変える

ために我々がしなくてはならなかったことは男と女の間にバランスを持つことではなかったのか？企業には男性性が与えられ、大量消費という形態を推進することに興味を持ち、我々がすべきすべては何もかも充分大きくすることだった。重要な事実は、資本主義構造が男性による支配を基礎としていることだ。そしてその男性の力は極端な物質主義を”正常”として喜んで受け入れていたことだ。そして買い物依存症から脱却すべきだったと知るべきだ。9. 11の後からアメリカ大統領は市民のストレスを緩和するために、市民をショッピングに熱中させ、経済を強くして、市民がテロリストを許さない気持ちになるよう駆り立てた。ショッピング・モールから遙かに離れたこのチベットの山奥でもヤクの牧夫はそのメッセージを受け取り、彼らは自然を破壊することなく生活をしているにもかかわらず彼らは山に転がっている水晶やほかの物を我々に売り始めた。

歴史的に見ると、男は自分の遺伝子を拓げるために戦争を行い、それに必要な車を作り出してきた。女は人間関係を慈しみ、子どもを育てるために安定した社会を欲してきた。

これから平和な社会を築くために、物事の決定過程において女性は重要な役割を担わなくてはならない。

現代は女性が家族の中で一番の買い物の主役であり、現代の世界規模の企業体による争いを助長しているが、これらアマゾン原住民とチベット遊牧民の考え方は、物質優先主義から女性に必要な平和を持たらす考えとして重要かも知れない。ダライ・ラマが育った町で今までとは異なった考えを私は学ぶことが出来たのかもしれない。】

下スペースが余ったのでついでに今読んでいる本「即刻開悟の鍵4」の一部を写します。

【私は皆さんの気持ちがよく分かります。オーナーであったり、社会的責任があったり、地位があったりすれば、多くの挫折に遭います。以前、フォルモサ（台湾）の役人の女性が、私の所にやってきて涙を流しました。彼女はかなり地位の高い役人でした。彼女は私に「マスター、どうしてですか。私は前世でどんな間違ったことをしたのかわかりませんが、現世で何をしても障害があり、妨害され、何をしても大変困難なのです。」と言いました。私は「大変困難だから、あなたに任せたのですよ。もし簡単なら、他の人でも出来るでしょう」と言いました。彼女には多くの苦勞や苦痛があり、仕事をするときスムーズに運びませんでした。高官になって、とても輝かしい地位だから良いとは限りません。背後の苦しい心の内が私たちにはわからないのです。私たちが普通の人なら、あまり重圧はなく、自分と家族のためにお金を稼げばいいのですが、これもまた危険があります。それは私たちに重圧がなく、苦痛を感じないので、修行をしようとしなからずです。私たちの世界があまりに平和で、生活があまりに平凡だと、私たちは（心の）水準を上げようとしません。ですからこれも危険です。ある人達はとても裕福で生活がとても順調で、とても快適な生活をしているので、もっと高い心の世界のことを考えなくなります。この両方ともあまり良くありません。たとえ良いことがたくさんあるように見えたとしても、私たちにとって良くないのです。】